

令和6年4月

広島県小学生バレーボール連盟
加盟団体の皆様

広島県小学生バレーボール連盟
会 長 宮 正 純 二
理事長 山 岡 静 樹
審判長 森 伸 一

健全な指導および応援の徹底について

平素より、広島県小学生バレーボール連盟の活動にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。さて、JVAは、「それって、指導ですか？暴力ですか？」をキャッチフレーズに掲げ、バレーボール界から、暴力・体罰・ハラスメントを撤廃する取り組みを始めました。しかしながら、昨年度、日小連の相談窓口には、各種ハラスメントの相談が数多く寄せられております。バレーボールを、安心・安全で魅力あるスポーツにするためにも、次に示すような言動を厳に慎むとともに、子ども・保護者・指導者・役員を含むすべての関係者が心を一つにして小学生バレーボールを盛り上げていく必要があります。

- 1 委縮するほどの言葉や態度で選手に接すること。
- 2 選手を見放すような態度をとったり言葉を投げつけたりすること。
- 3 審判への敬意のない言動をとること。
○ベンチや応援席から、審判員（特にチーム帯同審判員）の判定を受け入れず、試合終了後も不満を示す言動をとること。
○ベンチや応援席から、ラインジャッジや記録員、点示をする選手に抗議し、冷静に判定することが難しい状況に追い込むこと。
- 4 試合会場において、相手チームに対して心ない言葉を発すること。
- 5 その他、子どもたちを指導または応援するときに、現代の社会通念上ふさわしくない言動をとること。

以上のような言動は、身体的にも精神的にも成長過程にある小学生に想像以上の大きな威圧感を与えるだけでなく、心を大きく傷つけてしまいます。また、全力でその任務にあたる審判員やコートオフィシャルの選手の立場を尊重し、敬意をもって受け入れる必要があります。

今一度、子どもたちを指導・応援する指導者・保護者・役員の皆様には、スポーツの原点に立ち戻り、言動全般について見直しをお願いします。そして、子どもたちが楽しくバレーボールをすることができる環境をつくっていくために、ご協力をお願いいたします。